

Ⅲ 牧草・飼料作物優良品種特性一覽表

1 牧 草 類

2 飼 料 作 物

Ⅲ 牧草・飼料作物優良品種特性一覧表

1 牧草類

(1) マメ科牧草

種 類	品 種	利用 目的	早晩性	決定 年次	一 般 特 性	栽培地域 区 分	育 成 地	導入者等
ア カ ク ロ ー バ	北海19号	採草	極早	令5	オーチャードグラスとの混播において多収で、雪腐病にやや強く永続性に優れる。 2・3番草のうどんこ病罹病程度と倒伏程度がやや高い。	全 道	北農研センター	
	リョクユウ	採草	早	平22	永続性が高い。オーチャードグラスやチモシー極早生品種との混播適性に優れ、耐寒性はやや強。	全 道	北農研センター 根 釧 農 試	
	ナツユウ	採草	早	平13	混播適性と越冬性に優れ、うどんこ病、菌核病には強いが、黒葉枯病にはやや弱い。既存の早生品種の中では競合力が小さく、チモシー主体管理に有利。	全 道	北海道農試 根 釧 農 試	
	メルビィ	採草	早	平2	越冬性、早春の草勢は良好。うどんこ病、モザイク病に強いが、茎割病に弱い。多収で永続性に優れる。	全 道	ベルギー (R. V. P研究所)	ホクレン
	SWオデン (SW RK1124)	採草	晩	令2	クローバ菌病罹病程度が低く、うどんこ病罹病程度がやや低い。チモシーの中生品種との混播に適する。	全 道	スウェーデン (ラントマン社)	雪印種苗 (株)
	アンジュ	採草	晩	平25	国内育成では初めてとなる晩生系統である。耐寒性がやや強と標準品種に比べて優れ、うどんこ病やモザイク病の罹病程度が低い。夏播種では合計収量がやや高く、マメ科率が高く維持され変動が少なく、チモシーの中生品種との混播に適する。	全 道	北農研センター ホ ク レ ン	
	SWアレス	採草	晩	平19	生育期間を通じてマメ科率30～40%をおおむね維持し、混播適性に優れ、特に2番草の競合力が穏やかである。越冬性は「クラノ」並で、永続性は優れる。うどん粉病及び葉枯性病害には「クラノ」並かやや劣る。チモシー中生品種との混播に適し、チモシー早生品種との組み合わせでも利用できる。	全 道	スウェーデン (Svarof Weibull AB)	雪印種苗 (株)
シ ロ ク ロ ー バ	アブラステイング (Aber Lasting)	採草 放牧	—	平31	中葉型。草勢が穏やかで、イネ科牧草との混播利用において、イネ科牧草の主体性が維持されやすい。	全 道	イギリス (IBERS)	雪印種苗 (株)
	アバパール (AberPearl)	放牧	—	平28	小葉型。越冬性は並。永続性は高い。チモシーとの混播利用。	全 道	イギリス (IBERS)	雪印種苗 (株)

注：栽培適地区分は優良品種決定時におけるものであるため、現状と多少異なる場合もある。

種 類	品 種	利用目的	早晩性	決定年次	一 般 特 性	栽培地域区分	育 成 地	導入者等
シクロクローバ	タホラⅡ (GC158)	放牧	—	平28	小葉型。越冬性は並。永続性は高い。チモシーとの混播利用。	全 道	ニュージーランド (GrasslanzTechnologyLimited)	ホクレン
	コロボックル	放牧	—	平23	小葉型。耐寒性は強。チモシーメドウフェスクとの混播種利用。	道 東	北農研センター根 釧 農 試	
	リースリング [☆]	採草 放牧	—	平17	中葉型。越冬性は並。永続性は高い。中葉型であるがオーチャードとの混播に向く。	全 道	オ ラ ン ダ (Cebecco Se eds社)	ホクレン
	グラスバズ [☆] (タホラ)	放牧	—	平 8	小葉型。ほふく茎の密度が高い。チモシーとの混播適性良。チモシーとの混播で利用。	全 道	ニュージーランド (AgResearch Grasslands)	ホクレン
	ルナメイ	採草 放牧	—	平 8	大葉型 (ラジノ型)。越冬性、混播適性は良。ほふく茎の密度が高い。イネ科牧草との混播利用。	全 道	フ ラ ン ス (I. N. R. A)	雪印種苗 (株)
	マキバシロ	放牧	—	平 3	中葉型 (コモン型)。混播適性、永続性、放牧適性に優れる。	全 道	東 北 農 試	
	ソーニヤ	採草 放牧	—	昭63	中葉型 (コモン型) ほふく茎の密度が高い。多収。混播適性良。イネ科牧草との混播利用。	全 道	スウェーデン (ウイグルスホルン植物育種研究所)	三井東庄肥料
	グラスバズ [☆] (フィア)	放牧	—	昭46	中葉型 (コモン型)。耐病性は強。再生力は強。	道 道 央 南	ニュージーランド (科学産業研究所草部)	
アルサイククローバ	テトラ	採草	晩	昭56	4倍体。春の草勢は良好。再生は不良。越冬性は並。耐病性は並。	道 道 東 北	スウェーデン (W. Weibull社)	北農研センター
アルファルファ	K a r l u	採草	早	令4	チモシー中生品種との混播において競合力が穏やかで混播適性が高い。そばかす病抵抗性に優れ、パーティシリウム萎凋病抵抗性は強。越冬生は劣る。	全 道	エストニア (Estonian Crop Research Institute) 社	雪印種苗 (株)
	北海若葉 (北海8号)	採草	早	令 2	多収で永続性に優れ、耐寒性、耐病性、耐踏圧性は強。	全 道	北農研センター	
	ケレス2 (SBA0901)	採草	早	平29	多収、耐病性 (そばかす病、パーティシリウム萎ちよう病) は強。短所は見当たらない。	全 道	雪印種苗 (株)	
	ウシモスキー (北海6号)	採草	早	平26	多収で2番草と3番草の収量が高く、そばかす病に強い。越冬性は良好で倒伏程度が低い短所はない。	全 道	北農研センター根 釧 農 試 ホ ク レ ン	
	ケレス	採草	早	平17	耐倒伏性、耐病性 (特にそばかす病、パーティシリウム萎ちよう病) は強、多収。	全 道	雪印種苗 (株)	
	ハルワカバ	採草	早	平15	越冬性、永続性に優れる。収量性が高い。耐寒性は中～やや強。	全 道	北農研センター	
	ヒサワカバ	採草	早	平 6	草型はやや直立型。耐寒性、耐倒伏性、耐病性 (特にパーティシリウム萎ちよう病とそばかす病) は強。少雪地帯でとくに多収。	全 道	北農研センター	
ガレガ	こまさと 184	採草	早	平14	草型は直立。永年性及びイネ科との混播に優れる。経年草地の植生改善対策に極めて有効。	全 道	エストニア農業試験研究所	ホクレン

注：栽培適地区区分は優良品種決定時におけるものであるため、現状と多少異なる場合もある。

(2) イネ科牧草

種 類	品 種	利用 目的	早晚性	決定 年次	一 般 特 性	栽培地域 区 分	育 成 地	導入者等
チモシー	センブウ (北見33号)	採草	極 早	平30	年間合計乾物収量が多く、斑点病抵抗性に優れ、採種性に優れ、混播栽培に必要な競合力が強い。	全 道	北見農試 ホクレン	
	クンプウ	採草	極 早	昭55	草型は直立。草丈はやや低い。茎は太い。耐病性は強。再生は良好。	全 道	北見農試	
	北見36号	採草	早	令 6	混播適正に優れ、低消化性繊維(ob)の含量が低く、可溶性炭水化物(WSC)含量が高い。	全 道	北見農試 ホクレン	
	マオイ (SBT0002)	採草	早	平26	標準品種より多収で、混播適性がやや良好である。	全 道	雪印種苗(株)	
	なつちから	採草	早	平22	年間合計乾物収量が多く、斑点病抵抗性に優れ、耐倒伏性があり、混播栽培に必要な競合力が強い。	全 道	北見農試 ホクレン	
	ホライズン	採草	早	平14	1番草の耐倒伏性がやや優れる。やや多収で、特に2番草が多収。	全 道	雪印種苗(株)	
	オーロラ	採草	早	平 6	初期生育、再生は良好。耐病性は比較的強。耐倒伏性は強。多収。	全 道	ホクレン	
	ノサップ	採草	早	昭52	草型は直立。茎はやや太。葉身はやや長。多葉性、再生は良好。耐病性は強。多収。	全 道	北見農試	
	Bor0102	放牧	中	平29	多刈り条件で夏と秋の収量性が高い。採草利用条件では倒伏がやや多い。	全 道	フィンランド (ボレアブルラトブ リーディング社)	ホクレン
	なつびりか (北見30号)	採草	中	平26	年間合計乾物収量が多く、耐倒伏性が強く、混播栽培に必要な競合力に優れる。	全 道	北見農試	
	SBT0308 (アルテミス)	採草 放牧	中	平22	収量性、斑点病抵抗性、混播適性に優れ、主に採草で利用するが放牧でも利用できる。	全 道	雪印種苗(株)	
	SBT0310 (ヘリクス)	採草 放牧	中	平22	収量性、斑点病抵抗性、耐倒伏性に優れ、主に採草で利用するが、放牧でも利用できる。	全 道	雪印種苗(株)	
	アッケシ	採草 放牧	中	平 4	草型は直立型。茎は細く、茎数が多い。耐寒性は強い。斑点病に強い。倒伏にやや弱い。多収。	全 道	北見農試	
	キリタツプ	採草 放牧	中	平 4	着葉角度が狭い直立型。茎は細く、茎数が多い。斑点病、倒伏に比較的強い。耐寒性は強。多収。	全道及び 東北北部	北見農試	

注：栽培適地区分は優良品種決定時におけるものであるため、現状と多少異なる場合もある。

種 類	品 種	利用 目的	早晚性	決定 年次	一 般 特 性	栽培地域 区 分	育 成 地	導入者等
チモシー	センリョク (北見35号)	採草 放牧	中の晩	令 2	採草・放牧利用時の収量性、耐倒 伏性・斑点病抵抗性に優れ、混播適 性と越冬性にやや優れる。低消化性 繊維含量が低く、可溶性炭水化物含 量が高く、栄養価に優れる。	全 道	北見農試 ホクレン	
	キウス (SBT0904)	放牧 採草	晩	平29	多回刈り条件で道東において収量 性が高い。雑草の侵入程度が低い。 短所はなし。	全 道	雪印種苗(株)	
	なつさかり	採草 放牧	晩	平16	草型はややほふく型。耐倒伏性 及び斑点病抵抗性に優れる。耐寒 性は茎はやや太い。多収。	全 道	北見農試	
	シリウス	採草	晩	平14	斑点病抵抗性と混播適性がやや優 れる。直立型で多収。	全 道	雪印種苗(株)	
オーチャード グラス	わせじまん (東北8号OG)	採草 放牧	早	令 2	多収で水溶性炭水化物の含有が高 く、すじ葉枯病の耐病性に優れ、T DN収量が多い。	全 道	北農研センター 東北農研センター	
	はるね みどり	採草 放牧	早	平17	春、秋の収量性に優れ、年次によ る収量の落ち込みが少ない。耐病性 (雪腐病)は強、すじ葉枯病にやや 強。越冬性と早春の草勢やや良。耐 寒性やや強。	全 道	北農研センター	黒さび病の発生が やや多いので、発 生した場合は早め に収穫する。
	えさじまん (北海30号)	採草 放牧	中の晩	平27	収量性はやや多収で、越冬性と早 春の草勢はやや優れる。WSC含量が高 く、サイレージ発酵品質が向上する ため、推定TDN収量が多い。すじ葉枯 病は標準品種より優れる。	全 道	北農研センター 雪印種苗(株)	
	ハルジマン	採草 放牧	中の晩	平13	草型はほややふく型。越冬性は 「オカミドリ」と同程度。春の草勢 は良。雪腐大粒菌核病抵抗性は強。 耐寒性は中からやや弱。収量性は 「オカミドリ」と同程度かやや優 れ、特に1番草の収量は多収。耐病 性はやや強。耐倒伏性は強。	全 道	北海道農試	
	パイカル	採草 放牧	晩	平18	越冬性に優れ、早春の草勢はやや 優れる。多収で、番草別では1、2 番草は優れ、3番草は劣る。また、 アカクロバの競合力は強い。	全 道	ホクレン	黒さび病にやや弱 いので、発生した 場合は早めに収穫 する。
	バッカス	採草	晩	平14	直立型。草丈やや高い。すじ葉枯 病や黒さび病は「オカミドリ」より 優れる。	全 道	雪印種苗(株)	

注：栽培適地区区分は優良品種決定時におけるものであるため、現状と多少異なる場合もある。

種 類	品 種	利用 目的	早晚性	決定 年次	一 般 特 性	栽培地域 区 分	育 成 地	導入者等
オーチャード グラス	北海34号	採草 放牧	極 晩	令 6	乾物収量がやや多収で、可溶性炭水化物(WSC)含量と高消化性成分(OCC+0a)含量が高い。	全 道	北農研センター ホ ク レ ン	
	トヨミドリ	採草 放牧	極 晩	平 6	草型は直立型。草丈高く、茎数少ない。越冬性良。永続性、混播適性に優れる。	全 道	北海道農試	
トールフェスク	スワイ (Swaj)	採草	晩	令4	道東地域で年間収量がやや多収。1番草がやや多収。放牧利用適性が劣る。	全 道	スウェーデン (ラントメソ社)	ホクレン
	ホクリョウ	放牧	晩	昭47	草丈は高い。多葉性に優れ、葉は大型。耐病性は強。雪腐病に強。	道 東	北海道農試	
メドウフェスク	コスモ ポリタン	放牧	早	平26	年間合計乾物収量が多く、越冬性に優れる。	道 東	ド イ ツ (ザアツトシュタッフ)	雪印種苗 (株)
	まきば さかえ	採草 放牧	早	平21	越冬性は「ハルサカエ」より顕著に優れる。放牧適性もやや優れる。	全 道	北農研センター 根 釧 農 試	
	ハルサカエ	採草 放牧	早	平11	越冬性、混播適性良。収量、耐倒伏性はトモサカエよりやや優る。	全 道	北海道農試	
ペレニアル ライグラス	チニタ	放牧 採草	中	平20	収量性に優れ、放牧条件下における採食性がやや優れる。既存の優良品種より出穂が早い。	道 北 道 中 道 南	上 川 農 試 (天北支場)	
	道東3号	放牧	晩	令 6	越冬性がやや優れる。1番草を採草後、放牧する兼用利用も可。多回刈りで年間収量がやや多く、特に夏以降の収量性に優れる。	道 北 道 中 道 南	日草協、農研機構 北農研、東北農研 家畜改良センター 十勝牧場	
	SW Birger	放牧	晩	令 6	1番草を採草後、放牧する兼用利用も可。兼用利用で収量性に優れる。土壤凍結地帯での栽培は避ける。	道 北 道 中 道 南	スウェーデン (ラントメソ社)	ホクレン
	KSP1403	放牧	晩	令 3	多雪地で越冬性に優れる。1番草を採草後、放牧する兼用利用も可。土壤凍結地帯での栽培は避ける。	道 北 道 中 道 南	酪 農 試 雪印種苗(株)	
	ポコロ	放牧 採草	晩	平11	収量性、永続性、混播適性に優れる。秋と春の生育が良好で、早春からの利用が可能となる。	道北、道 中、道南 (土壤凍結のない 地帯)	天 北 農 試	
	フレンド	放牧	晩	昭53	草型は中間型。葉幅は広く、葉色は濃緑色。冠さび病は強。雪腐病に弱。4倍体。収量は比較的安定。越冬性はやや良好。	道北、道 中、道南 (ただし、土壤 凍結のない 地帯に限る)	雪印種苗(株)	

注：栽培適地区分は優良品種決定時におけるものであるため、現状と多少異なる場合もある。

種 類	品 種	利用 目的	早晚性	決定 年次	一 般 特 性	栽培地域 区 分	育 成 地	導入者等
イタリアン ライグラス	タチサカエ	採草	早	平23	4倍体。直立型。雑草防除能力は高い。	全 道	タキイ種苗(株)	
	ヒタチヒカリ	採草	早	平23	4倍体。直立型。葉腐病にやや劣る。雑草防除能力は極めて高い。	全 道	茨城県 畜産センター	
	ビリケン (マモイロ)B	採草	早	昭46	4倍体。直立型。稈は太く、葉は大型。冠さび病に弱い。	全道(肥 沃地)	雪印種苗(株)	
ケンタッキー ブルーグラス	ラ ト ー	放牧	早	平19	「トロイ」に比べ発芽・定着時早勢及び越冬性に優れる。乾物収量は2年目(播種後1年目)から「トロイ」より高く、3年目も安定している。シロクローバとの競合性は強い。さび病の耐病性はやや優れる。褐斑病の耐病性はやや劣る。	全 道	ド イ ツ (Steinach社)	雪印種苗 (株)
	ト ロ イ	放牧	早	昭53	春の草勢が優れている。さび病抵抗性はやや優れる。 春の出穂が早いので放牧開始を早める。混播するマメ科はコモンタイプのシロクローバが適当。	全 道 (ただし、濫地は除く)	ア メ リ カ (モンタナ州農試)	酪農試
フェストロラム	ノースエスト (北海1号)	放牧 採草	—	平29	新型イネ科牧草。多刈条件で多収かつ季節生産性が平準化。 根釧地域における越冬性が劣る。	全 道	北農研センター	

注：栽培適地区分は優良品種決定時におけるものであるため、現状と多少異なる場合もある。

2 飼料作物 (1) とうもろこし

品 種	利用目的	早晩性	決定年次	一 般 特 性	栽培地域区分	育成地	導入者
北交91号 (ハマノト)	サイレージ	早の早	令 2	標準品種「KD254」と比べ、絹糸抽出期は7日早く、「早性の早」の中でもかなり早い。初期生育が良く、収穫時の雌穂乾物率が極めて高い。収量は低いが、密植適性は高い。耐倒伏性に優れ、すす紋病抵抗性、ごま葉枯病抵抗性が強く、赤かび病抵抗性は弱くない。	根釧地域 道北地域	北農研センター	
ソリード Anjou227	サイレージ	早の早	平25	標準品種「デュカス」と比べ、絹糸抽出期は3日遅い。乾物総重、TDN収量ともに多く、乾雌穂重割合はやや低い。すす紋病抵抗性は強い。	根釧地域 道北地域	フランス (リマグレイン社)	雪印種苗 (株)
KD254	サイレージ	早の早	平25	標準品種「デュカス」と比べ、絹糸抽出期は1～2日遅い。雌穂乾物率はやや低く、乾物総重、推定TDN収量は多い。乾雌穂重割合はやや高く、乾物中推定TDN割合はやや高い。耐倒伏性にやや優れる。すす紋病抵抗性はやや優れる。	根釧地域 道北地域	ド イ ツ (クラインツルベン育種株)	カネコ種苗 (株)
クウイス	サイレージ	早の早	平20	標準品種「エマ」と比較し、絹糸抽出期は同日であるが、収穫時熟度はやや進む。雌穂及び総体乾物率は高い。乾総重推定TDN収量は多く、乾雌穂重割合はやや高い。すす紋病抵抗性及びごま葉枯病抵抗性は強い。	根釧地域 道北地域	ド イ ツ (クラインツルベン育種株)	ホクレン
LG3215	サイレージ	早の早	平20	標準品種「エマ」と比較し、絹糸抽出期は2日遅く、収穫時熟度はやや進む。耐倒伏性は根釧地域では劣り、他地域では並である。乾総重、推定TDN収量は多く、乾雌穂重割合は高い。すす紋病抵抗性及びごま葉枯病抵抗性は強い。根釧地域の栽培では、倒伏が発生しやすい傾向がある。	道北地域	フランス (リマグレイン・バルノル・ホルディング社)	雪印種苗 (株)
KD082 ゲルミ (KEB8321)	サイレージ	早 RM総体 84	令 6	標準品種「KD320」より乾物総重量、推定TDN収量がやや多く、すす紋枯れ抵抗性が極強である。	※4 別表参照 (P38)	ド イ ツ (クラインツルベン育種株)	カネコ種苗 (株)
P7948	サイレージ	早の中	令 5	標準品種「KD320」と比べ、絹糸抽出期は1日遅い。乾物重量、推定TDN量がやや多く、乾雌穂重割合がやや高い。すす紋病抵抗性がかなり強い。	道央北部、 十勝及び 網走地域	アメリカ (パオア社)	ホクレン
LG31207 (HE16040)	サイレージ	早の中	令 3	標準品種「KD320」と比べ、絹糸抽出期は1日遅い。乾物重量、推定TDN量がやや多く、乾雌穂重割合がやや高い。	道央北部、 十勝及び 網走地域	フランス (リマグレイン・バルノル・ホルディング社)	雪印種苗 (株)
スピダ82 (TH1513)	サイレージ	早の中	令 2	標準品種「チベリウス」と比べ絹糸抽出期は1日遅い。乾物総重、TDN収量がやや多く、すす紋病にやや強い。耐倒伏性がやや弱い。	道央北部、 十勝及び 網走地域	ド イ ツ (クラインツルベン育種株)	タキイ種苗 (株)

注1：栽培適地区区分は優良品種決定時におけるものであるため、現状と多少異なる場合もある。

注2：決定年次が令和6年以降の品種の早晩性は、「極早生、早生、中生、晩生」で区分。また、「北海道統一RM総体」を掲載。(RM相対による「早晩生」及び「栽培適地区区分」は別表を参照(P32)。)

品 種	利用目的	早晩性	決定年次	一 般 特 性	栽培地域区分	育成地	導入者
コロサリス	サレージ	早の中	平30	標準品種「チベリウス」と比べ、絹糸抽出期は1～2日遅い。雌穂乾物率は並からやや高く、総体乾物率は並。乾物総重及びTDN収量はやや多く、乾雌穂重割合は低い。すす紋病抵抗性は強く、ごま葉枯病抵抗性はやや弱い。	道央北部、十勝及び網走地域	ドイツ (クラインツルベン育種株)	ホクレン
P8025 (X80A397)	サレージ	早の中	平28	標準品種「チベリウス」と比べ、絹糸抽出期は2日遅く、雌穂乾物率は高い。すす紋病抵抗性はやや強い。	道央北部、十勝及び網走地域	アメリカ (パイニア社)	ホクレン
エリオット	サレージ	早の中	平26	標準品種「チベリウス」と比べ、絹糸抽出期は1日遅く、収穫時熟度はやや早い。乾物率は茎葉、雌穂、総体とも高い。すす紋病抵抗性は極強。ごま葉枯病抵抗性はやや強い。	道央北部、十勝及び網走地域	フランス (リマグレン・バールル・ホルディング社)	雪印種苗 (株)
メルクリオ	サレージ	早の中	平24	標準品種「チベリウス」と比べ、絹糸抽出期は1日遅い。雌穂乾物率はやや低く、総体乾物率は並～やや高い。乾物総重及び推定TDN収量はやや多い。すす紋病抵抗性はやや強い。	道央北部、十勝及び網走地域	ドイツ (クラインツルベン育種株)	ホクレン
KD320	サレージ	早の中	平24	標準品種「チベリウス」と比べ、絹糸抽出期はほぼ同日。雌穂乾物率は並からやや高く、乾物総重及び推定TDN収量はやや多収。乾雌穂重割合はやや低い。すす紋病抵抗性は強い。	道央北部、十勝及び網走地域	ドイツ (クラインツルベン育種株)	カネコ種苗 (株)
KD301	サレージ	早の中	平23	標準品種「チベリウス」と比べ、絹糸抽出期は並～1日早く、雌穂乾物率はやや高い。すす紋病抵抗性はやや強く、ごま葉枯病抵抗性は弱い。	道央北部、十勝及び網走地域	ドイツ (クラインツルベン育種株)	カネコ種苗 (株)
39H32	サレージ	早の中	平17	標準品種「オーロラ」と比べ、絹糸抽出期は1日遅い。雌穂乾物率はやや高く、乾総重、推定TDN収量はやや多い。乾雌穂重割合は高く、推定乾物中TDN割合はやや高い。	道央北部、十勝及び網走地域	アメリカ (パイニア社)	ホクレン
チベリウス	サレージ	早の中	平16	標準品種「オーロラ82」と比べ、絹糸抽出期は並。総体の乾物率はやや高い。乾総重、TDN収量は多く、乾雌穂重割合は高い。すす紋病抵抗性はやや弱く、ごま葉枯病抵抗性は強い。	道央北部、十勝及び網走地域	ドイツ (クラインツルベン育種株)	ホクレン
北交97号 (トレイヤ)	サレージ	早の晩	令5	標準品種「KD418」と比べ、絹糸抽出期は2日早い。初期生育が良く、乾雌穂重が高い。耐倒伏性に優れ、すす紋病抵抗性が強い。TDN収量がやや低い。	道央北部、十勝及び網走地域	北農研センター	
ミリアーノ (HK1614)	サレージ	早の晩	令4	標準品種「KD418」と比べ、絹糸抽出期は1日早い。乾物・TDN収量がやや多く、すす紋病抵抗性が極強。	道央北部、十勝中部、網走内陸	ドイツ (クラインツルベン育種株)	ホクレン

注1：栽培適地区区分は優良品種決定時におけるものであるため、現状と多少異なる場合もある。

注2：決定年次が令和6年以降の品種の早晩性は、「極早生、早生、中生、晩生」で区分。また、「北海道統一RM総体」を掲載。(RM相対による「早晩生」及び「栽培適地区区分」は別表を参照(P32)。)

品 種	利用目的	早晩性	決定年次	一 般 特 性	栽培地域区分	育成地	導入者
KD085 ^{ペローナ} (KE4352)	サレージ ^グ	早の晩	令 3	標準品種「KD418」と比べ、絹糸抽出期は1日早い。乾物・TDN収量が多く、同熟期の割に登熟が早い。すす紋病抵抗性が強い。	道央北部、十勝中部、網走内陸	ドイツ (クラインツルベン育種株)	カネコ種苗(株)
SH14081	サレージ ^グ	早の晩	令 3	標準品種「KD418」と比べ、絹糸抽出期は同日。乾物収量・推定TDN収量がやや多く、すす紋病抵抗性がやや強い。	道央北部、十勝中部、網走内陸	雪印種苗(株)	
KD090カリス (KEB7421)	サレージ ^グ	早の晩	令 3	標準品種「KD418」と比べ、絹糸抽出期は1日遅い。乾物収量・推定TDN収量がやや多く、すす紋病抵抗性が強い。	道央北部、十勝中部、網走内陸	スイス (バィェルクロープサイエンス株)	カネコ種苗(株)
KD421 (KE5340)	サレージ ^グ	早の晩	平31	標準品種「KD418」と比べ、絹糸抽出期は1～2日遅い。雌穂乾物率及び総体乾物率はやや高く、乾物総重及び推定TDN収量が多い。乾雌穂重割合は並～やや低い。すす紋病抵抗性は強く、ごま葉枯病罹病程度は並～やや低い。	道央北部、十勝中部、網走内陸	ドイツ (クラインツルベン育種株)	カネコ種苗(株)
フレック85 (TH1475)	サレージ ^グ	早の晩	平31	標準品種「KD418」と比べ、絹糸抽出期は1～2日遅く、総体乾物率は高い。耐倒伏性に優れる。乾物総重及びTDN収量は並～やや多く、乾雌穂重割合はやや低い。すす紋病抵抗性はやや強く、ごま葉枯病罹病程度は並～やや低い。	道央北部、十勝中部、網走内陸	フランス (エルト・エン社)	タキイ種苗(株)
LG3264	サレージ ^グ	早の晩	平27	標準品種「KD418」と比べ、絹糸抽出期は同日。雌穂乾物率は高く、乾雌穂重割合は低い。すす紋病抵抗性はやや強く、ごま葉枯病抵抗性は強い。	道央北部、十勝中部、網走内陸	フランス (リマグレイバルノルホルディング社)	雪印種苗(株)
P8284	サレージ ^グ	早の晩	平25	標準品種「KD418」と比べ、絹糸抽出期は同日～2日遅い。雌穂乾物率は高く、乾雌穂重割合はやや低い。耐倒伏性に優れる。すす紋病抵抗性はやや強い。	道央北部、十勝中部、網走内陸	アメリカ (パイトア社)	ホクレン
39T45	サレージ ^グ	早の晩	平21	標準品種「ネオ85」と比べ、絹糸抽出期は1～2日早い。雌穂乾物率が高く、乾物総重及び推定TDN収量が多い。すす紋病抵抗性はやや強く、ごま葉枯病抵抗性はやや弱い。	道央北部、十勝中部、網走内陸	アメリカ (パイトア社)	ホクレン
P9027 (X90A712)	サレージ ^グ	中の早	平27	標準品種「ブリザック」と比べ、絹糸抽出期は同日。乾物総収量、推定TDN収量は多収で、乾雌穂重割合は高く、乾物中推定TDN割合はやや高い。稈長及び着雌穂高はやや高い。すす紋病抵抗性及びごま葉枯病抵抗性は強い。	道央北部、十勝中部、網走内陸	アメリカ (パイトア社)	ホクレン

注1：栽培適地区区分は優良品種決定時におけるものであるため、現状と多少異なる場合もある。

注2：決定年次が令和6年以降の品種の早晩性は、「極早生、早生、中生、晩生」で区分。また、「北海道統一RM総体」を掲載。(RM相対による「早晩生」及び「栽培適地区区分」は別表を参照(P32)。)

品 種	利用目的	早晩性	決定年次	一 般 特 性	栽培地域区分	育成地	導入者
アシル90 (SH1353)	サレージ	中の早	平17	標準品種「ロイヤルデント90H」と比べ、絹糸抽出期は4日遅く、雌穂乾物率は低い。乾総重は多く、推定TDN収量はやや多い。乾雌穂重割合は低く、乾物中TDN割合はやや低い。すす紋病抵抗性及びごま葉枯病抵抗性は強い。	道央北部、十勝中部及び網走内陸の気象条件の良好な地域	雪印種苗(株)	
ギガス93 (TH1970)	サレージ	中 RM総体 94	令 6	標準品種「36B08」より乾物総重量、推定TDN収量が多い。	※6 別表参照 (P38)	ドイツ (クライツラー ベン育種(株))	タキイ種 苗 (株)
P8888	サレージ	中の中	令 4	標準品種「36B08」と比べ、絹糸抽出期は3日早く、乾物・TDN収量が多い。乾雌穂重割合はやや高く、すす紋病抵抗性はやや強い。	道央中部、道央南部、道南地域	アメリカ (パイヤ社)	ホクレン
KD420 (KE2410)	サレージ	中の中	令 3	標準品種「おおぞら」と比べ、絹糸抽出期は2日早い。乾物・TDN収量が多く、乾雌穂重割合、乾物中TDN割合が高い。すす紋病抵抗性は極強。	道央北部、十勝中部、網走内陸	スイス (バエルク プサイエンス(株))	カネコ種 苗(株)
北交88号 (だいち)	サレージ	中の中	平28	標準品種「おおぞら」と比べ、絹糸抽出期は2日遅い。雌穂乾物率は高く、推定TDN収量はやや多い。すす紋病抵抗性は強い。	道央中部、道央南部、道南地域	北農研セン ター	
エスパス95 (SL0746)	サレージ	中の中	平25	標準品種「おおぞら」と比べ、絹糸抽出期は3日早いが総体乾物率はやや低い。乾物収量、TDN収量はやや高く、乾雌穂重割合が高い。	道央中部、道央南部、道南地域	雪印種苗(株)	
TH058	サレージ	中の中	平18	標準品種「クラリカ」と比べ、絹糸抽出期は並。耐倒伏性は強く、乾総重及び推定TDN収量は5%高い。すす紋病抵抗性はやや強く、ごま葉枯病抵抗性は弱い。	北部を除く 道央地域	フランス (コサトセメン ス社)	タキイ種 苗 (株)
おおぞら	サレージ	中の中	平14	標準品種「3790」と比べ、絹糸抽出期は1日遅い。耐倒伏性は強く、乾総重及びTDN収量は約6%高い。乾雌穂重割合は低い。すす紋病抵抗性及びごま葉枯病抵抗性は弱い。	道央(北部を除く)、道南	北農研セン ター	
SHY4041	サレージ	中の晩	令 3	標準品種「36B08」と比べ、絹糸抽出期は1日早い。乾物総重・推定TDN収量が多く、乾雌穂重割合、乾物中TDN割合が高い。	道央(北部を除く)、道南	雪印種苗(株)	
TH1525	サレージ	中の晩	令 2	標準品種「36B08」と比べ、絹糸抽出期は2日遅い。すす紋病抵抗性が強く、耐倒伏性も強い。	道央(北部を除く)、道南	フランス (エアース社)	タキイ種 苗 (株)
KD460 (KEB6471)	サレージ	中の晩	令 2	標準品種「36B08」と比べ、絹糸抽出期は同日。多収で乾雌穂重割合及び推定TDN含量が高く、すす紋病抵抗性が強い。	道央(北部を除く)、道南	フランス (モナト社)	カネコ種 苗 (株)

注1：栽培適地区区分は優良品種決定時におけるものであるため、現状と多少異なる場合もある。

注2：決定年次が令和6年以降の品種の早晩性は、「極早生、早生、中生、晩生」で区分。また、「北海道統一RM総体」を掲載。(RM相対による「早晩生」及び「栽培適地区区分」は別表を参照(P32))。

品 種	利用目的	早晩性	決定年次	一 般 特 性	栽培地域区分	育成地	導入者
SHY3143	サレージ	中の晩	平31	標準品種「36B08」に比べ、絹糸抽出期は同日。乾雌穂重割合は高い。すす紋病抵抗性は強程度。	道央中部(上臈)、道央南部、道南地域	雪印種苗(株)	
プロフ195 (TH13101)	サレージ	中の晩	平31	標準品種「36B08」に比べ、絹糸抽出期は1日遅く。乾物総重はやや低く、乾雌穂重割合は高い。すす紋病抵抗性はかなり強程度。	道央中部(上臈)、道央南部、道南地域	フランス(ゴティム社)	タキイ種苗(株)
P9074 (X90B216)	サレージ	中の晩	平30	標準品種「36B08」に比べ、絹糸抽出期は同じで、総体乾物率は高い。耐倒伏性は劣るが、推定TDN収量はやや多く、乾雌穂重割合は高い。すす紋病抵抗性は強い。	道央中部(上臈)、道央南部、道南地域	アメリカ(パオニア社)	ホクレン
P9400	サレージ	中の晩	平25	標準品種「36B08」と比べ、絹糸抽出期は同日で、総体乾物率はやや高い。乾物総収量、推定TDN収量、乾雌穂重割合は高い。耐倒伏性はやや強い。すす紋病抵抗性はやや弱い。	北部を除く道央地域、道南地域	アメリカ(パオニア社)	ホクレン
36B08	サレージ	中の晩	平16	標準品種「3845」と比べ、絹糸抽出期は並かやや遅い。総体乾物率はやや低く、乾総重及び推定TDN収量はやや高い。乾雌穂重割合は低い。ごま葉枯病抵抗性は強い。	道央(北部を除く)及び道南	アメリカ(パオニア社)	ホクレン
SH15445	サレージ	晩の早	令 3	標準品種「北交65号」と比べ、絹糸抽出期は1日遅い。乾物総重・推定TDN収量が多く、すす紋病抵抗性がやや強い。	道央中部(上臈)、道央南部、道南地域	雪印種苗(株)	
P0704 (X05D718)	サレージ	晩の早	令 2	標準品種「36B08」と比べ、絹糸抽出期は同日。多収で、すす紋病抵抗性がやや強い。ごま葉枯病抵抗性にやや劣る。	道央中部(上臈)、道央南部、道南地域	アメリカ(パオニア社)	ホクレン
北交65号	サレージ	晩の早	平20	標準品種「35C86」と比べ、絹糸抽出期は1日早く、耐倒伏性は強い。乾物総重及び推定TDN収量は低く、乾雌穂重割合は約3%高い。	道央中部(上臈)、道央南部、道南地域	北農研センター	
P1690	サレージ	晩の中	令 2	標準品種「LG3520」と比べ、絹糸抽出期は1日遅い。乾物総重、推定TDN収量が多く、すす紋病に強い。	道央中部(上臈)、道央南部、道南地域	アメリカ(パオニア社)	ホクレン
LG30500 (HE15037)	サレージ	晩の中	令 2	標準品種「LG3520」と比べ、絹糸抽出期は1日遅い。乾物総重、推定TDN収量がやや多く、すす紋病に強い。	道央中部(上臈)、道央南部、道南地域	フランス(リマグレン・バルビル・ホールディング社)	雪印種苗(株)

注1：栽培適地区区分は優良品種決定時におけるものであるため、現状と多少異なる場合もある。

注2：決定年次が令和6年以降の品種の早晩性は、「極早生、早生、中生、晩生」で区分。また、「北海道統一RM総体」を掲載。(RM相対による「早晩生」及び「栽培適地区区分」は別表を参照(P32))。

品 種	利用目的	早晩性	決定年次	一 般 特 性	栽培地域区分	育成地	導入者
P0725	サレージ	晩の中	平26	標準品種「LG3520」と比べ、絹糸抽出期は1日遅い。乾物総収量は平均8%、推定TDN収量は平均9%高く、乾雌穂重割合は2.5%高い。ごま葉枯病抵抗性は強い。	道央中部、道央南部及び道南地域	アメリカ(パイオニア社)	ホクレン
P1543	サレージ	晩の中	平25	標準品種「LG3520」と比べ、絹糸抽出期は並で、総体乾物率は同程度。乾物総収量、推定TDN収量及び乾雌穂重割合はやや高い。耐倒伏性がやや強い。すす紋病抵抗性は「3540」より強く「LG3520」よりやや弱い。	道央中部(上川)、道央南部、道南地域	アメリカ(パイオニア社)	ホクレン
LG3520	サレージ	晩の中	平20	標準品種「3540」と比べ、絹糸抽出期は1日早く、耐倒伏性はやや弱い。乾物総重はやや高く、推定TDN収量は高い。乾雌穂重割合はやや高い。すす紋病抵抗性は強く、ごま葉枯病抵抗性はやや強い。	道央中部(上川)、道央南部、道南地域	フランス(リマグリン・バルリル・ホルディング社)	雪印種苗(株)

注1：栽培適地区区分は優良品種決定時におけるものであるため、現状と多少異なる場合もある。

注2：決定年次が令和6年以降の品種の早晩性は、「極早生、早生、中生、晩生」で区分。また、「北海道統一RM総体」を掲載。(RM相対による「早晩生」及び「栽培適地区区分」は別表を参照(P32))。

【別表】

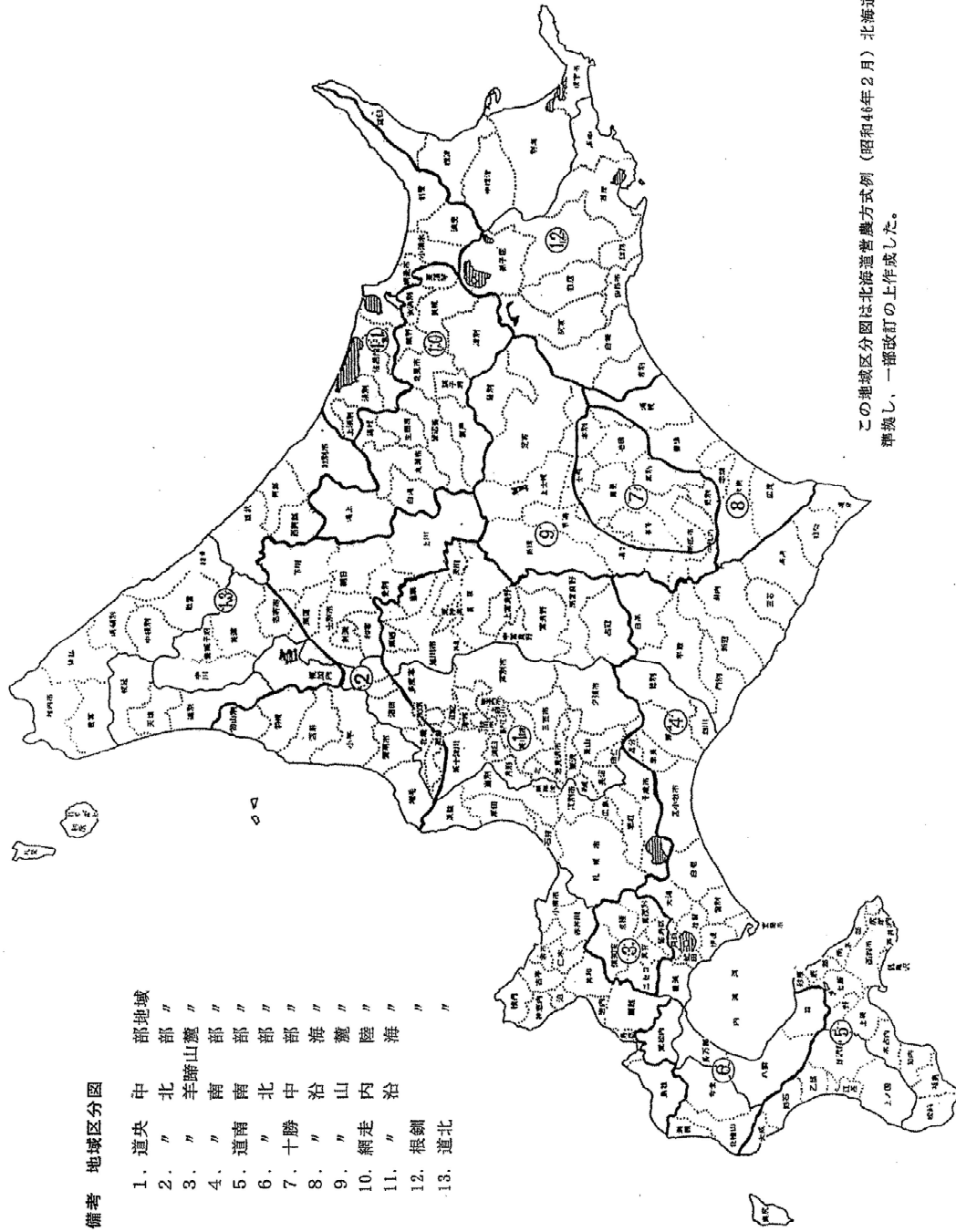
飼料用とうもろこしの栽培地域区分(令和6年次以降、決定された品種)

早晩性	RM総体範囲	栽培適地区区分	
極早生	～72	※1	気象条件のやや厳しい道北・根釧地域
早 生	73～77	※2	道北・根釧地域
	78～82	※3	十勝山麓・十勝沿岸・網走地域、気象条件の良好な道北・根釧地域
	83～87	※4	気象条件のやや厳しい道央北部地域、十勝・網走地域、気象条件の良好な道北地域
中 生	88～92	※5	道央北部・十勝中部・網走内陸地域・気象条件の良好な道北・網走沿岸地域
	93～97	※6	道央中部・道央南部・道南地域、気象条件の良好な道央北部・十勝中央・網走内陸地域
晩 生	98～102	※7	道央中部・道央南部。道南地域
	103～	※8	気象条件の良好な道央中部・道央南部・道南地域

Ⅳ 牧草・飼料作物優良品種栽培適地地域区分図

- 1 牧草・飼料作物優良品種栽培適地地域区分図
- 2 飼料用とうもろこしのRM総体による栽培適地図

1 牧草・飼料作物優良品種栽培適地地域区分図



この地域区分図は北海道普通農方式例（昭和48年2月）北海道農務部に
準拠し、一掃改訂の上作成した。

2 飼料用とうもろこしのRM総体による栽培適地図

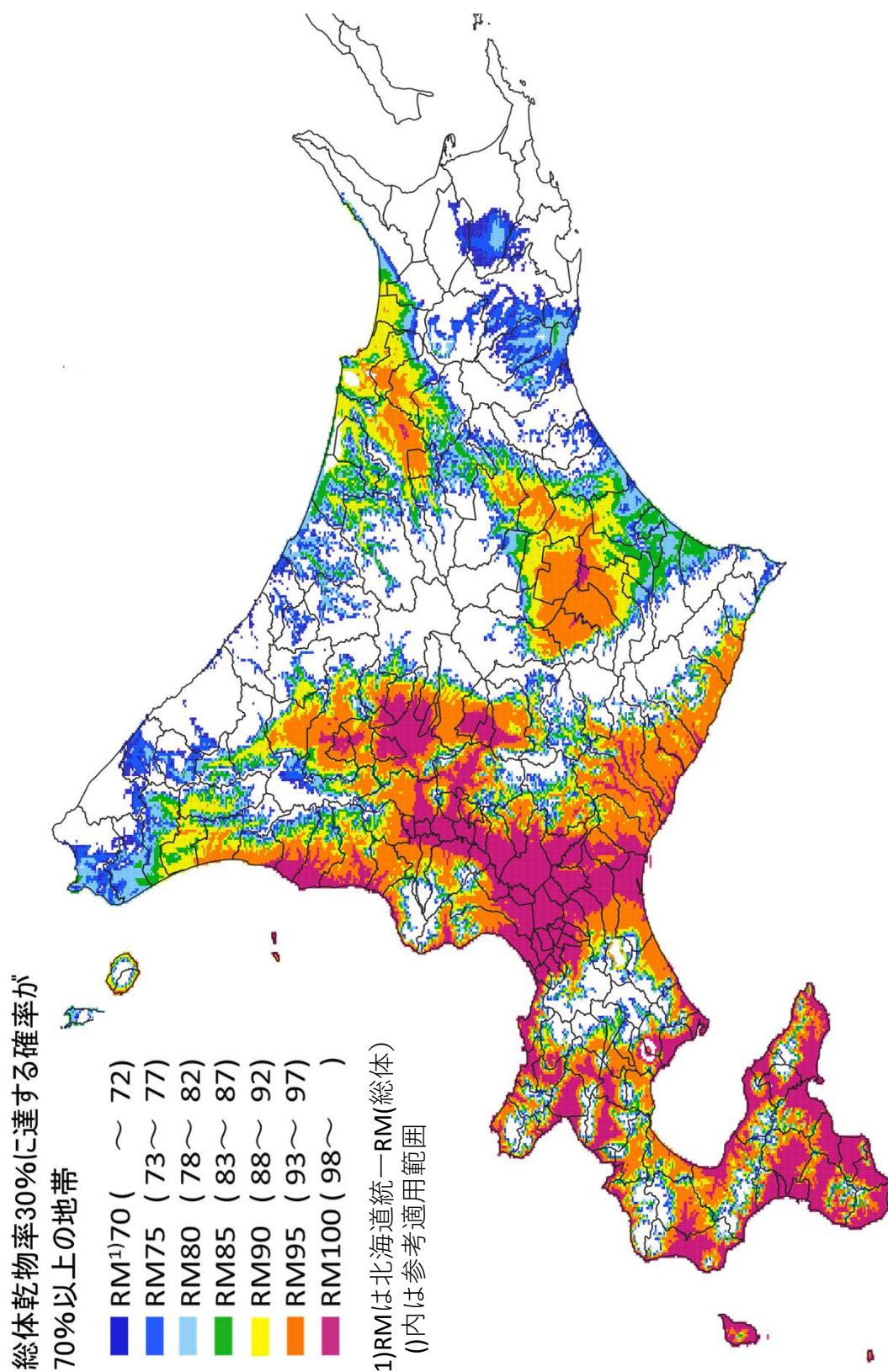


図 栽培適地マップ (飼料用とうもろこしが総体乾物率30%に到達する確率が70%となる地域)

Ver20200831

条件：播種日；5月15日 収穫日；10月10日、気象データ；2010～2019年の10年間

V 牧草・飼料作物優良品種廃止の変遷

V 牧草・飼料作物優良品種廃止の変遷

廃止年次	種類	品種	決定年次	廃止の理由
昭50	とうもろこし	複交4号	昭32	作付実績がなく、今後も栽培される見込みがないため
		パイオニア3620	昭46	〃
		マモス初代デントコーン	大12	〃
		エローデントコーン	大12	〃
昭53	とうもろこし	交4号	昭32	48年に採種を中止
		ジャイアンツ	昭37	49年に採種を中止
	アルファルファ	ウィリアムズバーグ	昭46	種子の流通量もなく、新品種に置き換えられる
	バズフトレフォイル	バイキング	昭46	種子の流通がない
昭54	とうもろこし	交8号	昭43	49年に採種を中止
	アルファルファ	デュピイ	昭33	品種保証種子の確保が困難
	チモシー	クライマックス	昭37	〃 「センポク」「ホクオウ」に置換
	オーチャードグラス	フロード	昭33	〃
昭55	メドウフェスク	レトーデンフェルト	昭16	53年産から採種を中止されたため
昭61	アルファルファ	アルファ	昭46	作付面積が著しく減少、今後とも増加の見通しがない
	ラジノクローバ	ロディギアノ	昭50	種子の供給が不能
	オーチャードグラス	マスハーディ	昭46	〃
	とうもろこし	交6号	昭37	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しがない
		ウiskonシン573	昭46	〃
		ホクユウ	昭49	〃
		P3715	昭49	新たな準奨励品種の認定によって存在価値が著しく薄れた
		P3575	昭51	種子の供給が不能
		P3390	昭51	〃
		JX188	昭51	〃
JX162	昭52	〃		
昭62	えん麦	ホナミ	昭34	作付なし
		モイラ	昭48	〃
昭63	オーチャードグラス	北海道存来種	大3	種子の供給が不能
		フィロックス	昭46	〃
	とうもろこし	JX92	昭58	〃
平2	マウンテンホームグラス	テイネ	昭46	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しがない
	とうもろこし	ワセミノリ	昭57	〃
		ニューデント85日	昭57	〃
		バッファロー	昭57	種子の供給が不能
平3	シロクローバ	ミルカパイピア	昭46	〃
	ペレアルマイグラス	ビートラ	昭53	〃
	メドウフェスク	トレーダー	昭53	〃
	リードカリーグラス	アイオリード	昭46	〃
	とうもろこし	JX47	昭62	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しがない
		コスタル	昭62	〃
		バリエント	昭63	〃
	アカクローバ	レッドヘッド	昭47	種子の供給が不能
	アルファルファ	サラナック	昭46	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しがない
平4	アルファルファ	ヨーロッパ	昭50	〃
		リュテス	昭60	〃
	オーチャードグラス	ホクレン改良種	昭46	種子の供給が不能
とうもろこし	カルデラ535	昭51	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しがない	

廃止年次	種類	品 種	決定年次	廃止の理由
平 5	アルファルファ	ソア	昭53	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しが無い
	とうもろこし	ブルータス	昭57	種子の供給が不能
		デントン	昭59	〃
		ソロ100H	昭61	〃
		ロイヤルデント105T	昭63	〃
平 6	アルファルファ	レーシス	平 2	〃
	とうもろこし	リザ	昭56	新たな準奨励品種の認定によって、存在価値が著しく薄れた
平 7	シロクローバ	エспанソ	昭63	種子の供給が不能
	メドウフェスク	タミスト	昭53	〃
	ペレアルグラス	リベール	昭53	種子の供給が不能
	とうもろこし	ロイヤルデント85	昭60	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しが無い
平 8	トールフェスク	ケンタッキー31	昭46	種子の供給が不能
	とうもろこし	RX42	昭58	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しが無い
		OsGold2570	昭63	〃
		RX420	平元	〃
平 9	とうもろこし	ロイヤルデントリンダ	昭63	新たな品種の認定により、存在の意味が著しく薄れたため
		ロイヤルデントコミット80	平元	〃
	アカクローバ	スタート	平 2	〃
	アサイクローバ	エルモ	昭56	種子供給が不可能なため
平10	とうもろこし	ヘイゲンワセ	昭48	新たな品種の認定により、存在の意味が著しく薄れたため
		ワセホマレ	昭53	〃
		ダイヘイゲン	昭58	〃
	ルタバガ	ネムロルタバガ	昭29	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しが無い
		マゼスチック1号	昭34	〃
	えん麦	オホーツク	昭41	〃
		ヒダカ	平 2	〃
	とうもろこし	P3906	昭59	新たな品種の認定により、存在の意味が著しく薄れたため
		ドリーナ	昭62	〃
		ANJOU09	平元	〃
		DK464	平 3	〃
DK535		平 3	〃	
コラリス		平 5	〃	
平11	シロクローバ	リーガル	昭50	新たな品種の認定により、存在の意味が著しく薄れたため
	アルファルファ	キタワカバ	昭58	〃
	チモシー	ホクレン改良種	昭46	〃
		ハイデミー	昭46	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しが無い
	とうもろこし	P3747	昭61	新たな品種の認定により、存在の意味が著しく薄れたため
平12	アカクローバ	エムアールワン	平 2	〃
	アルファルファ	サイテーション	昭59	〃
		アロー	平 2	〃
	オーチャードグラス	ドリーゼ	昭46	〃
	とうもろこし	AW611	平 3	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しが無い
		3897	平 4	新たな品種の認定により、存在の意味が著しく薄れたため
ライサ		平 6	〃	

廃止年次	種類	品種	決定年次	廃止の理由
平13	アカクローバ	サッポロ	昭41	新たな品種の認定により、存在の意味が著しく薄れたため
		ハミドリ	昭41	〃
		T E T R I	平5	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しがない
	チモシー	センポク	昭44	新たな品種の認定により、存在の意味が著しく薄れたため
		ホクオウ	昭44	〃
		ホクセン	昭59	〃
	ペレアルライグラス	トープ	平4	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しがない
とうもろこし	P 3 7 3 2	昭60	〃	
平14	トールフェスク	ヤマナミ	昭47	作付け面積が減少し、道内の種子供給がない
	メドウフェスク	コマグリーン	平6	新たな品種（ハルサカエ）に代替
	とうもろこし	ヒノデワセ	昭60	作付け面積が減少し、種子の生産を休止
		キタユタカ	昭63	〃
		ヘイゲンミノリ	平1	〃
		キタアサヒ	平2	〃
		リビア	平2	新たな品種（ノベタ）に代替
		DK 3 0 0	平6	種子供給が困難となり、生産中止となった
		DK 2 1 2	平8	〃
	DK 4 0 1	平8	〃	
	飼料用ビート	3 7 9 0	昭63	新たな品種（クラリカ）に代替
		ソランカ	平1	作付け面積が減少し、道内の種子供給がない
		モノパール	平2	〃
	平15	とうもろこし	ロイヤルデント85H	平11
DK 4 7 4			平8	種子の供給が困難なため
平16	アカクローバ	ハミドリ4n	昭54	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しがない
	メドウフェスク	ファースト	昭53	新たな優良品種により代替が可能。代替「リグロ」
	オーチャードグラス	ホクト	昭62	〃 代替「トヨミドリ」
	ペレアルライグラス	ファントム	H 4	〃 代替「ポコロ」
	とうもろこし	ディア	昭61	種子の供給が困難なため
		セリア	平5	〃
		3 8 4 5	平6	〃
DK 5 6 6		平12	〃	
ロイヤルデト90H		平7	〃	
ロイヤルデントホーラ82	平9	〃		
平17	メドウフェスク	バンディ	昭56	新たな優良品種により代替が可能。代替品種「ハルサカエ」
	とうもろこし	3 5 4 0	平2	種子の供給が困難なため
		カーギル123	平4	〃
		3 4 7 7	平5	〃
		ノルダ	平10	〃
		ノベタ	平12	〃
ロイヤルデントホーラ90	平12	〃		
平18	メドウフェスク	トモサカエ	昭63	他の優良品種によって代替が可能。代替品種「ハルサカエ」
	とうもろこし	カリメラ	平14	種子の供給が困難なため
		ジェレミス	平14	〃

廃止年次	種類	品種	決定年次	廃止の理由
平19	アカクローバ	タイセツ	平2	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しが無い
	スズブコムグラス	アイカップ	昭62	新たな品種によって、代替が可能
	アルファルファ	マヤ	平2	種苗供給が困難
	オーチャードグラス	ヘイキング	昭46	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しが無い
		ヘイキングⅡ	昭62	〃
	ハイブリッドライグラス	テトリライト	昭59	当該品種の種苗供給が困難
	とうもろこし	DK483	平12	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しが無い
		SL9851	平15	〃
		KD354	平11	種苗供給が困難
		TH9861	平15	〃
	えん麦	アキユタカ	昭55	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しが無い
		前進	昭46	〃
	ライ麦	ペクトーザ	昭46	〃
	ルタバガ	グリーントップ	昭46	〃
飼料用ビート	シュガーマンゴールド	昭46	〃	
飼料用カブ	紫丸かぶ	昭46	〃	
平20	とうもろこし	エマ	昭61	〃
		LG2290	平8	〃
	アルファルファ	ユーパー	平2	〃
		バータス	平2	〃
平21	とうもろこし	ピヤシリ85	平8	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しが無い
		ピリカ90	平10	〃
		35G86	平13	新たな品種によって、代替が可能
		モノポル85	平13	種苗供給が困難
平22	オーチャードグラス	フロンテア	昭47	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しが無い
	チモシー	ホクセイ	平6	〃
	とうもろこし	きたちから	平17	種苗供給が困難
		ディアHT	平9	新たな品種によって、代替が可能
		36A43	平14	〃
	ぱびりか	平17	重大な欠点が明らかになったため	
平23	とうもろこし	ネオ85	平16	種子供給が中止となったため
		KD417	平17	〃
	飼料用大麦	あおみのり	昭62	作付がなく、今後の作付も見込めないため
	えん麦	アキワセ	平2	〃
平24	オーチャードグラス	キタミドリ	昭44	新たな優良品種によって置き換えが可能
		オカミドリ	昭51	〃
	アルファルファ	5444	平2	〃
	とうもろこし	クラリカ	平10	作付面積が減少し、導入者の保有する種子もなくなったため
		ビスカ	平15	新たな優良品種によって置き換えが進んだため
平26	アカクローバ	クラノ	平10	種苗供給が困難
	イ列アライグラス	ビリオン	昭46	〃
	オーチャードグラス	ケイ	昭53	新品種による置き換えにより、作付け見込みがないため
平27	オーチャードグラス	グローラス	平5	種苗供給が困難
	とうもろこし	KD500	平19	作付面積が減少し、今後とも増加する見通しが無いため
平28	とうもろこし	リッチモンド	平15	新品種による置き換え及び種子生産、販売が中止されたため

廃止年次	種類	品種	決定年次	廃止の理由
平29	チモシー	ホクエイ	平7	新たな優良品種によって置き換えが可能
	メドウフェスク	リグロ	平6	〃
	とうもろこし	33N29	平21	作付面積が減少、新たな優良品種によって置き換えが可能
平31	アカクローバ	マキミドリ	平5	後継品種（SWアレス）との置き換えのため
	とうもろこし	シンシア90	平17	作付面積が減少し、今後とも増加する見通しがないため
		ピエナ	平21	育種会社における採種が終了したため
		LG3235	平24	後継品種（エリオット）との置き換えのため
令2	とうもろこし	39F83	平17	作付面積が著しく減少し、今後とも増加の見通しがない
		デュカス	平18	〃
		SHC0702	平24	種苗供給が困難
令3	アカクローバ	ホクセキ	平2	リョクユウ等への置き換えが進んでおり、種子生産が終了
令4	アカクローバ	ハヤキタ	昭54	新たな優良品種によって置き換えが可能
	シロクローバ	カリフォルニアラジノ	昭46	〃
		リベンデル	平8	〃
		ラモーナ	平8	種苗供給が困難
	アルファルファ	マキワカバ	平6	作付面積が減少し、今後とも増加する見通しがないため
	オーチャードグラス	ワセミドリ	昭62	〃
	メドウフェスク	プラデール	平14	種子供給が困難
	イタライグラス	プリモラ	平23	〃
	ケンタッキーブルーグラス	ケンブルー	昭46	〃
	とうもろこし	ブリザック	平17	〃
		DKC34-20	平19	作付面積が減少し、今後とも増加する見通しがないため
34N84		平20	新たな優良品種によって置き換えが可能	
39T13		平22	〃	
きよら		平23	作付面積が減少し、今後とも増加する見通しがないため	
令5	アカクローバ	SWトルン	平27	育成元での種苗生産が中止されたため
	チモシー	ホクシュウ	昭52	新たな優良品種によって置き換えが進んだため
	スズブコムグラス	フーレップ	平17	作付面積が減少し、今後とも増加する見通しがないため
	とうもろこし	たちぴりか	平21	作付面積が減少し、今後とも増加する見通しがないため
令6	とうもろこし	KD418	平21	「KD421」への置き換えが進んだため

北海道牧草・飼料作物優良品種一覽

編集 北海道農政部生産振興局畜産振興課
(畜産環境係)

060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL 011-231-4111 (内線) 27-767

発行 令和6年(2024年)3月